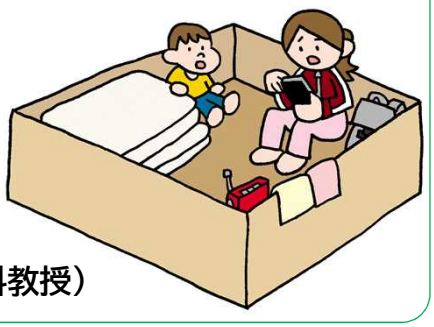
令和４年度 人権啓発講座「暮らしの中の人権を考える」

災害時における人権課題

受講料
無料

① 妊産婦・乳幼児の災害支援



２月１日（水）10：00～11：30

吉田 穂波 さん

（神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科教授）

② 多文化共生の視点から

２月７日（火）10：00～11：30

岩田 一成 さん

（聖心女子大学現代教養学部日本語日本文学科教授）

③ 横須賀市の避難支援

２月８日（水）10：00～11：30

横須賀市市長室危機管理課職員

※講座の構成：いずれも講話60分、質疑応答30分

【会場】まなびかん 5階 第1学習室　（横須賀市生涯学習センター・西逸見町1-38-11）

【申込】＊1月11日（水）以降に、
電話（平日8:30～17:00）、FAX、メールで、講座名・氏名・住所・電話番号を生涯学習課へ
＊手話通訳・要約筆記が必要な方は、各講座開催日の2週間前までにお申込みください。

【定員】各回先着30名

新型コロナウイルス感染防止にご協力ください。
・発熱されている方や体調不良の方はご遠慮ください。
・入口で検温、手指消毒をお願いします。
・受講中はマスクを着用してください。
・扉や窓を開けて換気をしますので、防寒対策をお願いします。
※新型コロナウイルス感染拡大状況により延期または中止になる場合があります。

【注意事項】
受講者による録音・録画、カメラ・携帯電話での撮影はご遠慮ください。

横須賀市教育委員会事務局教育総務部生涯学習課
電話：046-822-8483　FAX：046-822-6849　Email：se-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp
主　催：横須賀市教育委員会・（公財）横須賀市生涯学習財団

【講師紹介】

吉田　穂波　さん

聖路加国際病院にて臨床研修後、産婦人科医として11年間勤務。ドイツ・イギリスでの臨床経験を経てハーバード公衆衛生大学院留学。帰国直後に起こった東日本大震災では日本プライマリ・ケア連合学会の被災地支援派遣医師として妊産婦支援プロジェクトを担当し被災妊産婦や新生児の救護に携わった。国立保健医療科学院、神奈川県をはじめとした官公庁や多数の自治体で母子保健領域の公共政策に携わり、2019年より現職。著書に、『「時間がない」から、なんでもできる!』(サンマーク出版)、『「頼る」スキルの磨き方』(KADOKAWA出版)ほか多数。4 女 2 男の母。

岩田　一成　さん

日本語教育が専門。大学卒業後、日本語教師として青年海外協力隊に参加(中国内蒙古自治区派遣)。帰国後、大学院に入って学び直し(大阪大学言語文化研究科博士後期課程修了:言語文化学)、国際交流基金日本語国際センター、広島市立大学を経て、現在の所属は聖心女子大学教授。
出入国在留管理庁、神奈川県などで職員向け研修を実施し、外国人にもわかりやすい公用文作成の支援に取り組んでいる。『在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン』作成メンバーの一人。
著書に『新しい公用文作成ガイドブック』『読み手に伝わる公用文:〈やさしい日本語〉の視点から』がある。

横須賀市市長室危機管理課

災害から自らを守ることが困難な高齢者等の方々を「災害時要援護者」と言います。
大規模災害が発生した直後において、災害時要援護者の方に迅速かつ安全な避難等をしていただくためには、地域の公助による支援体制の充実が不可欠です。
横須賀市では、各地域における支援体制の整備を推進していくため、「横須賀市災害時要援護者支援プラン」を策定しており、本講座では、この支援プランを中心に横須賀市の避難支援についてお話します。

【アクセス】

☆JR線「横須賀駅」・京急線「逸見(へみ)駅」からともに徒歩5分です。
☆京急バス「汀橋(なぎさばし)」バス停前、「横須賀駅」バス停から徒歩5分です。
☆駐車場　施設利用者のための地下駐車場を併設しています。(有料)
☆駐輪場　自転車・バイクの駐輪場が1階にあります。(無料)